

宗内寺院紹介 **13**

星野山
無量寿寺
喜多院



天長七年（八三〇）淳和天皇の勅願を受け、慈覚大師が無量寿寺として創建されたと伝えられる。その後、鎌倉時代中期に尊海僧正が談義所を創設、あわせて元三大師堂を建立し、学問所・修行所として栄えた。戦国時代に荒廃するが、江戸時代初期に天海僧正が入山し、徳川家康公の帰依・寄進を得て伽藍を復興、幕府は「関東天台宗法度」を当山に下した。家康公は度々当山を訪れ天海僧正に宗教政策の助言を求めている。寛永十五年（一六三八）川越大火により焼失するが、三代將軍家光公が直ちに江戸城の御殿を移築すると共に諸堂を整備し再建した。明治維新以降は、元三大師への信仰を広めることに努め、特に正月三日の「初大師だるま市」を中心に、祈願寺として年間を通し多くの檀信徒の信仰を集めている。

星野山
無量寿寺
喜多院

住所 〒350-0036 埼玉県川越市小仙波町1-20-1
電話番号 049-222-0859
HP <http://www.kawagoe.com/kitain>
(拝観時間等はこちらをご覧ください。)